

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

2. 癌 (癌の術後、抗癌剤の不特定な副作用)

文献

Oteki T, Ishikawa A, Sasaki Y, et al. Effect of rikkunshi-to treatment on chemotherapy-induced appetite loss in patients with lung cancer: a prospective study. *Experimental and Therapeutic Medicine* 2016; 11: 243-6. Pubmed ID: 26889248

1. 目的

化学療法後の食欲不振に対する六君子湯の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

大学病院 1 施設

4. 参加者

手術適用のない肺癌患者で CDDP、CBDCA、非プラチナ製剤の化学療法を受けた患者 48 名 (全 140 コールの治療を解析。研究は延べ 140 名として実施されている)

5. 介入

CBDCA

Arm 1: ツムラ六君子湯エキス顆粒投与群 64 コース

Arm 2: 非投与群 27 コース

CDDP

Arm1: ツムラ六君子湯エキス顆粒投与群 10 コース

Arm2: 非投与群 11 コース

非プラチナ製剤

Arm1: ツムラ六君子湯エキス顆粒投与群 16 コース

Arm2: 非投与群 12 コース

6. 主なアウトカム評価項目

食事摂取量

7. 主な結果

CBDCA 群において化学療法開始後 1-6 日において、食事摂取量に有意差を認めなかったが、7 日目においては六君子湯エキス顆粒投与群において有意に食事摂取量が増加した (6 日目については、食事摂取量増加の傾向 $P=0.0626$ を認めた)。CDDP 群、非プラチナ製剤群においては、食事摂取量に有意差を認めなかった。

8. 結論

化学療法中における六君子湯の使用は、食欲減退に対して有用な可能性がある。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

六君子湯は、近年、機能性胃腸症に頻用される処方である。化学療法による食欲不振も広い意味での機能性胃腸症であるので、六君子湯の有用性をこのような形で検討することの意義は大きいと思われる。研究の割付が恣意的 (CBDCA は投与群: 非投与群 = 2:1) であり、症例数が少ない中での工夫とは理解出来るものの、ランダム化比較試験を実施するという意味においては、やや残念である。なお、化学療法中の下痢に対して頻用される半夏瀉心湯についても健胃作用が認められており、東洋医学的な観点からは有効である可能性もあるため、Abstractor としては Arm に加えて欲しいところではある。

12. Abstractor and date

中田英之 2018.10.1.